

競技日程

1日目 7月22日(日)

トラック競技											
		種目	ラウンド	組	時刻			種目	ラウンド	組	時刻
1	男	1年1500m	予	3-0+16	10:00	9	女	3年1500m	予	3-0+16	13:55
2	男	2年1500m	予	3-0+16	10:30	10	女	100mH	決		14:30
3	男	3年1500m	予	3-0+16	11:00	11	男	110mH	決		14:45
4	男	400m	予	4-0+8	11:30	12	男	1年1500m	決		15:05
5	女	100mH	予	5-0+8	12:00	13	男	2年1500m	決		15:20
6	男	110mH	予	3-0+8	12:30	14	男	3年1500m	決		15:35
7	女	1年1500m	予	3-0+16	12:55	15	男	400m	決		15:50
8	女	2年1500m	予	3-0+16	13:25						

フィールド競技											
跳躍競技					投てき競技						
		種目	ラウンド	人数	時刻			種目	ラウンド	人数	時刻
1	女	走幅跳	決	43	10:00	1	男	砲丸投	決	27	12:00
2	女	走高跳	決	38	11:00						
3	男	走幅跳	決	34	13:00						

2日目 7月23日(月)

トラック競技											
		種目	ラウンド	組	時刻			種目	ラウンド	組	時刻
1	男	四種110mH		2	10:00	11	男	1年100m	決		13:40
2	女	四種100mH		3	10:15	12	女	2年100m	決		13:50
3	女	1年100m	予	5-0+8	10:35	13	男	2年100m	決		14:00
4	男	1年100m	予	4-0+8	10:55	14	女	3年100m	決		14:10
5	女	2年100m	予	5-0+8	11:15	15	男	3年100m	決		14:20
6	男	2年100m	予	5-0+8	11:35	16	女	1年1500m	決		14:30
7	女	3年100m	予	5-0+8	12:00	17	女	2年1500m	決		14:45
8	男	3年100m	予	6-0+8	12:25	18	女	3年1500m	決		15:00
9	男	3000m	予	2-0+16	12:50	19	男	4×100mR	予	4-0+8	15:30
10	女	1年100m	決		13:30	20	女	4×100mR	予	4-0+8	16:00

フィールド競技											
跳躍競技					投てき競技						
		種目	ラウンド	人数	時刻			種目	ラウンド	人数	時刻
1	男	走高跳	決	24	10:30	1	女	砲丸投	決	29	10:30
2	男	棒高跳	決	7	11:00	2	男	四種砲丸投		14	13:10
3	女	棒高跳(オープン種目)		3	11:00						
4	女	四種走高跳		25	13:00						

3日目 7月24日(火)

トラック競技											
		種目	ラウンド	組	時刻			種目	ラウンド	組	時刻
1	男	3000m	決		10:00	8	女	四種200m		3	13:20
2	女	200m	予	5-0+8	10:20	9	男	四種400m		2	13:40
3	男	200m	予	5-0+8	10:45	10	女	800m	決		14:10
4	女	800m	予	5-0+8	11:10	11	男	800m	決		14:20
5	男	800m	予	4-0+8	11:50	12	女	4×100mR	決		14:50
6	女	200m	決		13:00	13	男	4×100mR	決		15:00
7	男	200m	決		13:10						

フィールド競技											
跳躍競技					投てき競技						
		種目	ラウンド	人数	時刻			種目	ラウンド	人数	時刻
1	男	四種走高跳		14	10:00	1	女	四種砲丸投		25	10:20
2	男	三段跳	決	25	11:30						

陸上競技の部 伝達事項

1 緊急時の連絡



2 開会式

7月22日(日) 9:00~

◇ 晴天時：8:55 ホームストレート走幅跳ピット付近、メインスタンドに向かって整列完了

各地区代表男女4名ずつ、及び前年度、男女総合優勝・準優勝チーム各1名ずつが参加

◇ 雨天時：8:55 メインスタンド1F中央ロビーに整列完了

各地区代表男女1名ずつ、及び前年度、男女総合優勝・準優勝チーム各1名ずつが参加

<男子> 優勝：桑 原 準優勝：勝 山

<女子> 優勝：中 菽 準優勝：西 条 北

3 運動公園ゲート開門 6:50頃

陸上競技場開場 7:00

※ 前日及び開場前からのベンチ確保は厳禁とする。競技場内及びスタンド周辺でのベンチ確保は、大会当日の開場後に行うこと。

※ 雨天練習場内、招集所(第2ゲート周辺)付近、トレーニング室出入口付近、体育館前でのベンチ確保は禁止する。

4 四国大会申込・・メインスタンド1F 控室G

全国大会申込・・本部席(メインスタンド1F 第2会議室)

5 その他

※ 大会前日(7/21)の8:00~12:00に限り、メイン競技場を練習会場として開放する。

※ 原則としてオフィシャル・ルールを適用する。ただし162条5は適用しない。

※ 荒天時に限り、雨天練習場を開放する。雨天練習場の使用は、体操、ストレッチ、動き作り、ジョギング程度とし、スパイクを履いての走行や、器具(ミニハードルやメディシンボール等)を使用しての練習は禁止する。なお雨天練習場への出入りは、第2ゲート側からのみとする。

※ 雨天練習場内にマットやシートなどを敷くなど、占有的な使用はしないこと。

※ 別紙『競技注意事項』に必ず目を通しておくこと。

※ タクシー、バスの乗降は東駐車場で行うこと。横断歩道付近での乗降は厳禁とする。

※ 北駐車場は役員・審判員専用駐車場(公認審判員ID必要)とする。一般の駐車場は中央駐車場、東駐車場を使用すること。

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2018 年度（公財）日本陸上競技連盟規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。ただし日本陸上競技連盟規則162条5については適用しない。

2 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。
- (2) 荒天時に限り、雨天練習場を開放する。雨天練習場の使用は、体操、ストレッチ、動き作り、ジョギング程度とし、スパイクを履いての走行や、器具(ミニハードルやメディシンボール等)を使用している練習は禁止する。なお雨天練習場への出入りは、第2ゲート側からのみとする。
- (3) 砲丸投の練習については、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみとする。
- (4) 練習は、係員の指示によって行う。
- (5) 練習および競技で使用したマーカー(テープ類)は、必ず使用後に各自で処理すること。
- (6) 全天候走路であるため、スパイクのピンの長さは9 mm 以下とする。ただし、走高跳は12 mm 以下とする。また、スパイクピンの本数は11本以内とする。

3 選手招集について

- (1) 招集所は、競技場第2ゲート(1500mスタート地点)付近に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技 (四種競技を含む)	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技(四種競技を含む)	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

招集時刻を厳守すること

(3) 招集の手順

- ① 競技者または代理人は、招集開始時刻までに、招集所に掲示した競技者一覧表の自分のナンバーを○で囲む。(競技者一覧表は、招集開始時刻の30分前より掲示する。)
 - ② 競技者は、招集開始時刻までには招集所に集合し、最終点呼を受ける。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類および競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の指示に従って入場する。(携帯電話や通信機器および音楽再生機等は持ち込めない)
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技に出場できない。
- (4) 2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が競技者係に申し出る。2種目同時に出場する場合は、トラック競技を優先する。
 - (5) リレー種目に出場するチームは、予選・決勝ともに**招集完了時刻の1時間前**までにオーダー用紙を競技者係まで提出する。オーダー用紙は招集所に準備する。
 - (6) やむを得ず棄権する場合は、競技者係に申し出る。

4 競技について

- (1) スタートの合図は英語とする。不正スタートについては、1回目から失格とする。ただし四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- (3) トラック競技の予選はタイムレースとし、上位8名が決勝に進出することができる。ただし、男女1500m、男子3000mについては、予選タイムの上位16名が決勝に進出することができる。なお、同記録の場合は、日本陸連の規則に準じて決勝進出者を決定する。
- (4) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (5) 短距離種目では、事故防止のため、フィニッシュ後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走る。
- (6) リレー競走においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。
(ルールブック2018 第143条)
- (7) リレー競技のマーカーの使用は1カ所とする。使用したマーカーはそのチームで処理する。
- (8) 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- (9) 三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を10mとする。
- (10) フィールド競技における助力は、観客席に設けられたコーチ席(コーチング・ゾーン)でのみ認める。競技区域の外にいる者によって録画されたそれ以前の試技の映像を見ることは認めるが、その録画再生機器や録画映像を競技区域内に持ち込むことは認められない。

5 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場はすべて係員の誘導による。
※ 競技開始場所においても、直前の点呼があるので勝手に行動しないこと。
- (2)トラック競技の出場者はフィニッシュライン到着後、係員の誘導によって退場する。
- (3) フィールド競技の出場者は、係員の指示に従って退場する。

6 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは指定の大きさのまま数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸背部に確実につける。ただし、跳躍競技の出場者は胸または背のいずれかにつけるだけでよい。
- (2)トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を選手招集所で受け取り、ランニングパンツ右横や後方に取り付け、競技終了後係員に返却する。

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、最後の1人になるまでは次のとおりとする。

走高跳	男	145(練習)	150	155	160	165	170	173	176	以後3cmごと
	女	125(練習)	130	135	140	145	148	151	154	以後3cmごと
四種 走高跳	男	137(練習)	140	143	146	149	152	155	158	以後3cmごと
	女	117(練習)	120	123	126	129	132	135	138	以後3cmごと
棒高跳	男	240(練習)	250	260	270	280	290	300	310	以後10cmごと
	女	190(練習)	200	210	220	230	240	250	260	以後10cmごと

女子棒高跳はオープン競技とする。

- (2) 棒高跳の支柱移動は、口頭で競技役員に伝える。

8 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のポールを招集場で検査を受け、合格したものに限り使用が認められる。
- (2) 練習用としても個人の用具を競技場に持ち込んではならない。

9 表彰について

- (1) 各種目の表彰は1～3位まで行うので、入賞者は決勝終了後、入賞者控所で待機し、係員の指示に従うこと。(表彰の際は、上半身ユニフォームを着用すること。)
- (2) 総合の表彰は男女各3位まで行う。なお、各種目の入賞者の得点は1位8点、2位7点、3位6点、以下5、4、3、2、1点とする。総合得点が同点の場合は、1位種目の多い学校を上位とする。
- (3) 新記録樹立者には新記録賞を授与する。

10 応援横幕・のぼり旗、個人テントの設置について

- (1) 応援横幕・のぼり旗などは、バックスタンド及びサイドスタンドに設置すること。
- (2) スタンド等の通路をさえぎる状態での設置はしないこと。
- (3) 設置についてはロープ等を使用すること。(粘着テープ等の使用は禁止する。)
- (4) 個人名の入った応援横幕・のぼり旗等は許可しない。
- (5) 本競技場内の個人テントの設置は、バックスタンド及びサイドスタンドに設置すること。

11 その他

- (1) 閉会式には、総合得点で上位入賞校は必ず参加すること。
- (2) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が発生した場合は、正面スタンド下の医務室まで連絡すること。
- (3) 記録は正面玄関ロビー付近に掲示する。
- (4) スタンド等で出たゴミについては必ず各校で持ち帰ること。
- (5) 四国大会への出場権を獲得した(各種目1位～4位 ただしリレーは1位～2位)競技者がいる学校の監督は、陸上競技場控室 G にて四国大会の申し込みをすること。また、全国大会への出場権を獲得した競技者および全国大会出場推薦選手がいる学校の監督は、本部席(陸上競技場第2会議室)まで大会申込関係書類を受け取りにくること。なお全国大会出場推薦選手の監督へは本部より連絡する。